

お薬を服用されている方も、種類や服用期間により、献血ができる場合があります。下記に主なお薬を示しますので、ご参考にご覧ください。後発品などたくさんのお薬がありますので、詳しくは横診医師または受付職員にお尋ねください。献血にご協力いただく際には、お薬またはお薬手帳をお持ちいただき、薬剤名をご申告ください。なお、**横診医師が健康状態等を考慮し総合的に判断し、献血をご遠慮いただく場合もありますので何卒ご了承ください。**

種類	注意事項	
当日服用していても採血できる対象薬（健康状態が献血に不適でない限り考慮しなくてよい）		
ビタミン系薬	ビタミンKを除く	原因となっている疾患の状態により判断する。
漢方薬	肝炎治療のための服用を除く	原因となっている疾患の状態により判断する。
抗アレルギー薬	ステロイド含有薬を除く	＞ステロイド含有薬（最終服用日を含む3日間採血できない） セシタミン、エンベラミン、サクコルミン、セレスターナ、ヒスタフロック、アラダスミン、ベタセリンミン など ＞市販の花粉症、アレルギー一性鼻炎薬は献血できる
痛風・高尿酸血症治療薬	痛風発作治療薬（コルヒチン）を除く	＞痛風・高尿酸血症治療薬（献血できる） ベネシッド、コリムン、ザロリック、サロベール、フェブリク など
脂質異常症（高脂血症）治療薬	抗HMGCoA9抗体モノクローナル抗体製剤を除く	＞抗PCSK9抗体（3か月間献血できない） レバトーサ
胃腸薬		原因となっている疾患の状態により判断する。
低用量ピル	服用目的により採血できない場合がある	次の場合は献血できる。 ・パースコンピル ・更年期 月経困難症等のホルモン補充療法
局所投与の薬物（点鼻、点眼、吸入、外用）	心疾患、喘息、COPD、感染症など、症状・使用目的により献血できない場合がある	
緩下剤（便秘薬）	副交感神経興奮薬を除く	＞副交感神経興奮薬（最終服薬日を含む3日間は採血できない） オビエート、ベサコリン、プロスチガミン
降圧薬	・合併症がないこと ・血圧がコントロールされていること ・服用開始直後、服用量を変更した場合は慎重に判断する	複数剤の服用でも献血できる。
前立腺肥大症治療薬	アボター、アボルブ、フロスカ、フロベシアを除く	＞前立腺肥大症治療薬 バテフロスト、セルニルト、フリバス、ユリーヌ、ハルナール、エドフロスタット など
禁煙補助薬	内服薬を除く	＞内服薬（最終服薬日を含む3日間は採血できない） チャンピックス



献血協力を毎日呼び掛けているのには理由があります。

血液は長期保存ができない！

血液は生きた細胞の集まりなので、長い間保存できません！

いつでも患者さんに血液を届けられるように、毎日新しい血液を安定して確保する必要があります。

皆様の継続した献血へのご協力が必要です。

血液は人工的に造れない！

現代は、医療技術がどんどん進歩しています。しかし、輸血用血液はいまだに人工的に造ることができません。

皆様の献血協力によってしか、成り立たないものです。

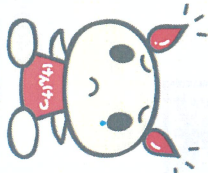
1日約 3,000人！

何の数字だと思いますか？

実は、輸血を受けている患者さんの数なんです。

毎日、こんなに多くの患者さんが、血液を必要としています。

皆様のご協力が必要です！！



あなたの40分で救える命があります。

ご体調のよろしい方、お時間ご都合付きます皆様へ。献血への温かいご協力をお願い申し上げます。